



2020年8月7日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号:4588)
問 合 せ 先 取締役管理担当 吉村 圭司
(TEL.03-5472-1578)

頭頸部がんを対象としたテロメライシンの Phase 2 医師主導治験契約に関するお知らせ

当社は、米国ニューヨーク州を拠点とするコーネル大学医学部血液・腫瘍内科准教授の Dr. Doru Paul らを中心とする研究グループと、頭頸部がん患者を対象としたテロメライシン (OBP-301) の Phase 2 医師主導治験 (以下、「本治験」) 実施に関する契約を締結することを決議しましたので、お知らせいたします。

本治験は手術不能・再発または進行性頭頸部がん患者を対象として、標準療法である放射線治療及び抗 PD-1 抗体ペムブロリズマブに、テロメライシンを上乗せした、3つの治療法を併用して有効性と安全性を検討する試験です。

頭頸部がんは QOL を著しく低下させることがある難治性の腫瘍であり、局所における有効な治療法は、外科的手術以外に放射線治療が主な治療法です。本治験では、これまでに得られているテロメライシンと放射線療法の併用による相乗効果に加え、抗 PD-1 抗体を併用することによる臨床効果を検討します。

当社は、「がんを切らずに治す」というコンセプトに基づきテロメライシンの開発を進め、新たながん治療法の発展に貢献することを目指しています。また、ライセンス先である中外製薬株式会社では、テロメライシンと放射線治療を併用した食道がん Phase 2 臨床試験が日本国内で実施されています。

なお、本契約締結に伴いコーネル大学へ 40 万米ドル (4,400 万円。\$=110 円) の支払いが発生します。また、本件に関する業績への影響等につきましては、2020 年 8 月 7 日公表の「2020 年 12 月期第 2 四半期決算短信 [日本基準] (非連結)」に記載の通り、現時点では業績に与える未確定な要素が多いことから、2020 年 12 月期の業績予想は適正かつ合理的な数値の算出が困難な状況と考えており、予想の公表をしておりません。

以 上